

科目名称	精神障害と臨床医学
授業コード	AD205
英語名称	Psychiatric Disorders and Clinical Medicine
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	鈴木 幹夫
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	医学の臨床場面では、「病気を診るのではなく、患者を診よ」といわれる。我々が接するのは、「こころ」を持った人間であり、病気を持つことにより、あるいは病人になることにより、こころに影響を受けない人はいないと思われる。我々はそのような患者の、「こころ」と「人生」を理解することを要求されている。本講では、「こころ」を診るために必要な精神医学的基本と、さらに主要な疾患の理解を目指す。
科目に関連する実務経験と授業への活用	総合病院などで、精神科臨床の実務経験がある教員が、多くの症例提示を含め、臨床に役立つ精神医学を講義する。
到達目標	ここで得た知識が、将来、臨床の場面で、患者を、そして患者の人生を理解するという実践に役立つことが目標である。したがって、講義は、単なる疾患の説明に留まらず、より深い精神病理や精神力動をも視野に入れた内容になる。さらに、理学療法士、作業療法士の役割の中で、高い倫理感と道徳観をもって対象者と関わる姿勢、科学的思考力・問題解決能力や、人の話を傾聴し共感できる能力を身につけ、人の生命・生活を尊び、健康の促進に責任と役割を持つ専門職として、社会に貢献できることも目標となる。
計画・内容	<p>1) 精神医学総論 精神医学の歴史（ヒポクラテス、クレベリン、フロイトなど） 精神疾患の分類、診断 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>2) 精神医学各論 統合失調症（歴史、疾病概念、疫学、経過など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>3) 精神医学各論 統合失調症（症状、分類、治療など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>4) 精神医学各論 気分障害（分類、病前性格など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>5) 精神医学各論 気分障害（症状、発病状況論、治療など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>6) 精神医学各論 精神科薬物療法（抗精神病薬、抗うつ薬など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>7) 精神医学各論 神経症（防衛機制、症状形成過程など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>8) 精神医学各論 神経症（転換性障害、解離性障害、強迫症など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>9) 精神医学各論 小児期の精神医学（自閉症スペクトラム、ADHD、チック障害など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>10) 精神医学各論 思春期、青年期の精神医学（思春期妄想症、摂食障害など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>11) 精神医学各論 思春期、青年期の精神医学（薬物依存など） 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>12) 精神医学各論 器質精神病、症状精神病、てんかん 予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>13) 精神医学各論 老年期の精神医学</p>

計画・内容	<p>予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>14) 精神医学各論 パーソナリティ障害</p> <p>予習：教科書の該当部分を読んでおく。復習：教科書、ノートを読み返す。</p> <p>15) まとめ</p>
授業の進め方	<p>板書をしつつ講義をするが、なるべく多くの具体的な症例を呈示し、患者が目の前にいるかのように想像できる授業を目指す。諸君にも、その疾患を持つ患者が、どのような人生を送っているかを思い浮かべることができるような、想像力とセンスが要求される。科学的な冷静な観察力と、共感する熱い情熱を併せ持つ、柔軟なところを持つよう努力してほしい。</p> <p>なお、教科書を参照しながら講義を進めるが、内容はより詳しいものになる。随時視覚教材を用いる場合もある。</p>
能動的な学びの実施	該当しない
授業時間外の学修	<p>授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくことが望ましい。</p> <p>予習と復習に合計60時間程度。</p>
教科書・参考書	<p>鈴木幹夫著、「コメディカルのための精神医学」、DTP出版を教科書として使用。</p> <p>参考資料は随時紹介あるいは配布。</p>
成績評価方法と基準	レポート（100%）
課題等に対するフィードバック	途中小テストなどをした場合は、授業内で解説を行なう。
オフィスアワー	Campus Square を参照。
留意事項	<p>1年で履修した臨床心理学の知識を復習しておくことが望ましい。</p> <p>将来、臨床場面に臨む場合、精神医学的知識は必須と思われるので、真剣に履修してほしい。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方 授業動画配信によるオンデマンド授業とする。</p> <p>成績評価方法 期末レポート100%で評価する。</p>